

## 担い手の経営のライフステージに応じた支援

タイトル 復興牧場開業にかかる融資対応

J A 名 農林中央金庫福島支店（福島県）

<b>1 動機</b> （経緯）	<p>県内沿岸部の酪農基盤については、東日本大震災・原発事故に伴い大きな影響を受けており、現在も 58 戸の酪農家が避難・休業を余儀なくされています。</p> <p>また、全国的に従来の酪農スタイルは長時間労働・低収益性等の課題を抱えていること、酪農家の高齢化および後継者不足等の理由により、酪農家戸数・生産乳量は減少傾向にあり、酪農基盤の維持・回復が課題となっています。</p> <p>以上の課題克服のため、福島県酪農業協同組合の主導の下、避難・休業中の酪農家 5 名が㈱フェリスラテを設立し、共同経営型の大型牧場（以下、「復興牧場」という。）の経営を平成 27 年 4 月に開始しました。</p>
<b>2 概要</b>	<p>復興牧場は敷地面積 36、833 m<sup>2</sup>、飼養頭数 580 頭と東北最大級の牧場であり、自動搾乳機・自動哺乳機・脱臭システムといった先進的な設備を導入し、作業効率化を通じた酪農の諸課題の解決を図っています。</p> <p>農林中央金庫福島支店は復興牧場開業にあたり、牧場施設・乳牛の導入資金 514 百万円を復興ローンにより対応したほか、事業主体の㈱フェリスラテへの復興ファンド 60 百万円の対応、先進事例の視察研修に対する費用助成等を実施し、本事業を全面的にサポートしました。</p> <p>また、事業開始後も福島県酪農業協同組合と連携し、PDCA サイクルの仕組み導入や作業マニュアルの作成を含め、運営面の助言・サポートを継続的に実施しています。</p>
<b>3 成果</b> （効果）	<p>本事業への融資対応等により福島県酪農業の復興および将来の酪農経営のあり方を先取りした先進モデル構想の実現に貢献しました。さらに、継続的なサポートにより、事業開始後の体制構築・順調な事業運営の実現にも貢献しています。</p> <p>また、㈱フェリスラテは J A と連携した自給飼料対策に取り組んでいますが、これは近隣農家との耕畜連携・耕作放棄地の解消にもつながっています。</p>
<b>4 今後の</b> 予定（課題）	今後も引続き福島県酪農業協同組合と連携し、事業運営・経営管理のサポートに取り組みます。



搾乳の様子